

「暑さ対策」小学校委員会活動支援事業に係る報告書兼涼くまグランプリ応募用紙

<p>学校名</p>	<p>熊谷市立大麻生小学校</p>		
<p>1 活動の概要 (実施した活動の概要を委員会別に記入して下さい。)</p>	<p>○保健委員会:熱中症予防教室の実施、熱中症・UV 指数の掲示と放送 ○奉仕委員会:来校者へのお礼カードとお茶、塩分タブレットの配布 ○飼育委員会:ウサギ小屋にWBGT計活用の継続 ○図書委員会:熱中症予防啓発紙芝居を1・2年生教室に常備 ○放送委員会:涼しさを感じるCDの使用 ○運動委員会:プールでのスプリンクラーの活用 ○計画委員会:ミストの活用 ○栽培委員会:グリーンカーテンの手入れ、水やり 廊下にプランターでアサガオ・ひまわりの設置、水やり</p>		
<p>2 活動の様子や成果、工夫した点</p>	<p>【保健委員会】 ○熱中症予防教室:感染症対策のため、1・2年生のみ実施し、1年生に紙芝居を、2年生にパネルシアターを行いました。 ○熱中症指数・UV指数の掲示と放送:2・3階の廊下に掲示板を設置し、朝・業間休み・昼休みに保健委員が測定し、数値を表示しています。業間休みと昼休みには、気温・湿度・熱中症指数の放送も行い、予防と啓発に努めました。</p> <p>【活動の様子や成果】 熱中症指数予防教室は、1・2年生が興味を持って、集中して聞いていました。熱中症指数・UV指数の掲示と放送では、保健委員が当番を決め、毎日測定と放送をし、児童も掲示を見たり、放送を聞いたりして、意識できていました。</p> <p>【工夫した点】 熱中症予防教室では、感染対策のため、マスクを着用しながらの実施となり、マスクをしていても聞こえる声の大きさを発表できるよう、何度も練習しました。熱中症指数・UV指数掲示板はどの学級からも見えるように、両面にカードをかける形にし、委員会の児童も作業しやすいように工夫しています。</p> <p>【奉仕委員会】 ○来校者へのお礼:夏の暑い時期は、来校者にメッセージカードを添えたお茶と塩分タブレットを渡しています。</p> <p>【活動の様子や成果】 メッセージカードを喜んでくださる方が多く、子供たちも一生懸命作成しています。</p> <p>【工夫した点】 メッセージカードを厚紙にし、塩分タブレットを貼り付けました。お茶に輪ゴムでカードを付け、すぐに付け外しでき、お茶が飲みやすくなるようにしました。</p> <p>【飼育委員会】 ○ウサギ小屋にWBGT計の設置:ウサギの餌やりや清掃の際、WBGT計を確認し熱中症にならないように意識して委員会活動を行いました。</p> <p>【活動の様子や成果】 暑い中での餌やりや清掃のため、暑い日はなるべく迅速に、WBGT計を見ながら作業していました。</p> <p>【工夫した点】 作業に夢中になると、時間を忘れてしまうため、熱中症指数が高いときはブザー音が鳴るようにし、作業中も音を聞いて、熱中症予防の意識ができるようにしました。</p>		



	<p>【図書委員会】 ○熱中症予防紙芝居の配布：1・2年生に熱中症予防の紙芝居を学級文庫として置いてい ます。各学級で活用を呼び掛けています。</p>
	<p>【活動の様子や成果】 学級文庫として昨年度から常備しておくことで、子供たちが興味を持って、自発的 に見ることができています。 【工夫した点】 紙芝居のため、低学年の児童は興味を強く持っていました。</p>
	<p>【放送委員会】 ○涼しさを感じるCDの使用：暑い時期には給食中に涼しさを感じる水の音などのCDを流し ました。コロナ禍で黙食を行う中で、耳からも涼を感じられていました。 ○業間休み・昼休みの放送：熱中症指数が5を超えるや熱中症の危険が高いと思われると きは、休み時間の放送の際に外遊びができないことを必ず放送しています。</p>
	<p>【活動の様子や成果】 暑い日には涼しさを感じるCDを使用するように、放送委員が自分たちで判断し、 放送していました。子供たちも黙食ということもあり、放送をよく聞いていました。 廊下のWGBT計を放送委員自ら見たり、教員に確認をとった上で、外遊びの放送も できていました。 【工夫した点】 同じ音楽ばかりにならないように、流す音楽を変えるなど、工夫しました。</p>
	<p>【運動委員会】 ○プールサイドのスプリンクラーの活用：プールサイドが非常に暑くなるため、スプリンク ラーを使用し、プールサイドに冷たい水が常に流れるようにしました。</p>
	<p>【活動の様子や成果】 スプリンクラーより、足を冷やすことができる子が多くいました。 【工夫した点】 水を流すことによって、プールサイドの暑さが軽減されました。</p>
	<p>【栽培委員会】 ○グリーンカーテンの手入れ・水やり：毎日、委員会の児童がグリー ンカーテンの水やりや手入れをしました。枯れた葉をとったり、ネットに 巻き付くようにこまめに手入れをしています。葉の少ない場所には新 たにアサガオを植えるとともに、ベランダ廊下にプランターを並べ、 アサガオとひまわりを植えて、より暑さを防げるようにしました。</p>
	<p>【活動の様子や成果】 3階まで届くグリーンカーテンができ、教室や廊下の日差しを 遮ってくれていました。子どもたちがプランター運びや水やり など、協力しています。 【工夫した点】 廊下に伸びてしまっているアサガオはこまめにネットに巻き付けて、 廊下での転倒等につながらないようにしました。水やりの手間を減ら すため、散水ホースを活用しています。</p>
<p>3 今後の課題</p>	<p>まだ新型コロナウイルス感染症が流行しており、マスク着用や常時換気が続いま す。コロナ禍での暑さ対策をしっかりと実施できるように、感染症対策と熱中症対策を 別々に考えるのではなく、同時に効果的に行っていきます。</p>



審査基準は「独創性」、「波及・汎用性」、「持続性」、児童・生徒の「主体性」の4つ(工夫して記載して下さい。)

報告書の枠等は必要に応じて調整して下さい(無理に1枚に収める必要はありません。)